

コロナ・インフル拡大“受診控え”の動きも…なぜ？

9/16(火)テレ朝ニュース



<https://news.yahoo.co.jp/articles/4ccf8d3781d4fad502cf5163a95fff86a5700ba9>

コロナとインフルエンザの感染が拡大しています。そんななか、ある調査で明らかとなったのは「病院に行かない」という人です。一体なぜなのでしょう。

■コロナもインフルも拡大…

いとう王子神谷内科外科クリニック 伊藤博道院長

「きょうは爆発的でした。気づけばもう大混雑」

連休明けの16日、都内のクリニックは患者でごった返していました。

50代の人

「土曜の夕方に喉の痛みから始まって、ちょっと違和感。キンキンになるくらいの喉の痛み」

50代の男性が訴えたのは、激しい喉の痛みです。検査結果は…。

伊藤博道院長

「新型コロナの抗原検査で陽性」

新型コロナウイルス、感染です。

新型コロナは7月以降、感染者が急増。今、猛威を振るっています。

さらに警戒すべき事態も。10代の男性が感染したのは…。

伊藤博道院長

「インフルエンザAは陽性。新型コロナは陰性」

このインフルエンザ、1医療機関あたりの感染者数が0.5人と、前の週より3割ほど増加。これから秋、冬にかけて最悪の事態も起こりうるといいます。

伊藤博道院長

「新型コロナとインフルエンザ、両方が広がってきている。この火種がワッと火を噴くという機会が増えてくる」

そんななか、問題となっているのが受診控え。大手製薬会社が行った調査によると、この7月、風邪の症状を感じながらも受診しなかった人がおよそ7割にも上ったというのです。

■なぜ受診控え？この夏特有の事情

なぜ、つらい症状を抱えながらも病院に行かないのでしょうか。そこにはこの夏特有の事情がありました。

アンケートを監修した医師は…。

ヒラハタクリニック 平畑光一院長

「今年の夏はかなり暑かったので、外に出るのが怖い、つらい人がたくさんいた」

理由は猛暑だけではありません。

平畑光一院長

「夏にインフルエンザや新型コロナがはやるイメージがない。夏にそんなに重い病気になるはずがないという思い込み、それも受診控えの要因になっている可能性。重症化のリスクが上がってしまう。少し暑くても症状があれば医療機関を受診してほしい」

テレビ朝日